



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

Nagasaki Higashi

Global Report

International Department

第1号

April 14, 2015

スーパーグローバルハイスクールに指定されました！

長崎東高は、平成27年度より5年間の予定で、文部科学省より上記の研究指定を受けることになりました。今年度は全国から56校が指定を受けました。長崎県からは唯一の指定校となります。以下は文部科学省が発表している事業の概要です。

目的

急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成します。

事業の内容

国際化を進める国内の大学のほか、企業、国際機関等と連携して、グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進めます。

SGHの取り組みや国際科に関する情報等を、この「GLOBAL REPORT」で発信してまいります。

グローバル人材とは？

- 「グローバル人材」とは、概ね、以下のような要素を有する人材を指します。

要素Ⅰ： 語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ： 主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ： 異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティー

- このほか、幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークと（異質な者の集団をまとめる）リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等も大切な要素です。
- グローバル人材の英語能力水準の目安を（初歩から上級まで）段階別に示すと、
 - ① 海外旅行会話レベル、② 日常生活会話レベル、③ 業務上の文書・会話レベル
 - ④ 二者間折衝・交渉レベル、⑤ 多数者間折衝・交渉レベルこの中で、①②③レベルのグローバル人材の裾野の拡大は着実に進んでいます。今後は更に、④⑤レベルの人材が継続的に育成され、一定数の「人材層」として確保されることが極めて重要とされています。

（出典）「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」（2011年6月） グローバル人材育成推進会議3

1年間よろしくお願ひします！

本年度4月より来年3月までの予定で、デンマークから留学生（ビクター君）を受け入れます。配属は高校1年5組です。英語、音楽、体育などの授業を受講し、日本文化も学んでいきます。日本語はまだ学習中ですので、生徒のみなさんも優しく接してください。